

## 1. 企業概要

会社名	キョウドウギケンカガク <b>共同技研化学(株)</b>	代表者名	代表取締役 濱野 尚吉
事業内容	粘着テープ、多機能性フィルムの製造	窓口担当	事業支援室室長 田波 史郎
主要製品	基材レス強粘着テープ(分子勾配膜両面接着)、粘着付き制振吸音材、透明粘着シート	URL	http://www.kgk-tape.co.jp/
所在地	〒359-0011 所沢市南永井940		
国内事業所	(本社・所沢工場)埼玉県所沢市 (富岡工場)群馬県富岡市		
海外事業所	-		
電話/FAX番号	04-2944-5151 / 04-2944-1396	E-mail	tanami@kgk-tape.co.jp
資本金(万円)	5,000	設立年月	1979年10月
主要取引先	LIXIL、Panasonic、YKKAP、クリナップ、共同カイテック、マサル工業、トラスコ中山	売上(万円)	223,000
国際規格	-	従業員数(人)	90

## 2. PR事項

### 『多機能化技術で粘着テープをどんどん進化』

粘着フィルム(テープ)を開発、製造、販売している会社です。材料設計から合成、成膜、ドライラミネート、表面改質処理、多孔処理まで一貫して対応しています。

生み出す機能は、粘着性、接着性、光透過性、電磁波シールド、熱伝導性、電気伝導性、電気絶縁性、制振性、熱可塑性、熱硬化性など多様で、これらを複合化し多機能化させ、新しい機能をフィルムに付加します。

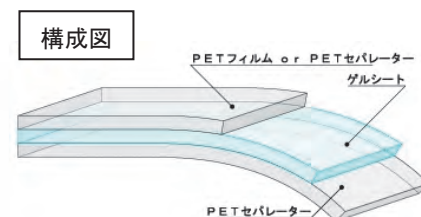


#### <分子勾配膜接着フィルム>

粘着層の厚み方向に分子量勾配を付ける技術です。表面層と中間層間の界面がなく、様々な両面テープに展開しています。例えば表面層は低分子量で接着力が高く、中間層は高分子量で腰のある基材レスの両面テープになります。従来の両面テープに比べ高接着、耐熱機能と省資源化を可能にした新しい発想の両面接着テープです。

#### <メークリンゲル技術>

アクリルのゲルをシート化する技術で、極めて透明なフィルムを作ることが出来ました。光学用や様々な用途に展開されています。また、衝撃吸収性能が認められ、制振用途にも展開されています。



## 3. 特記事項

- 3年連続日本発明大賞(考案厚労省)受賞
  - 2006年 分子勾配膜両面粘着テープ
  - 2007年 分子勾配膜接着フィルム
  - 2008年 メークリンゲル
- 文部科学省
  - 2009年 科学技術賞(技術部門)受賞